

## 1 主題名 生活を見直して

内容項目【A 節度 節制】

## 2 ねらい 対立する意見について話し合う活動を通して、自分の生活を見直し、節度ある生活を心がけようとする態度を養う。

教材名 けいたい電話とのつきあい方（出典「新しい道徳」東京書籍）

## 3 主題設定の理由

## (1) ねらいや指導内容について

小学校5学年及び6学年の指導の観点は、「安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。」である。

基本的な生活習慣は、人の生涯にわたってあらゆる行為の基盤となり、充実した生活を送る上で欠くことのできないものとなる。進んで自分の生活を見直し、自分の置かれた状況について思慮深く考えながら自らを節制し、程よい生活を送るために、自分を客観的に見つめ、自分の現状を内省することは不可欠な要素となる。また、このことは、自分や他人の快適な生活を守ることに繋がっていることも自覚させる必要がある。そのためには、規則正しい生活の必要性を理解し、自ら節度を守り自制する心や態度を育むことが必要となる。

指導に当たっては、規則正しい生活の必要性を確認した上で、自ら節度を守り、自制することについて多面的・多角的に考えさせ、節度ある生活を心掛けようとする態度を育てることが大切となる。

## (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、これまでに、心身の健康を守る生活習慣や、情報モラルについて学んできている。携帯電話やスマートフォンの使い方についても、携帯安全教室で学んでいる。したがって、多くの児童は、規則正しい生活の必要性や、節度を守り、節制を心掛けることの必要性を理解している。

しかし、知識として理解はしているものの、自分事として捉えられている児童は少ない。アンケートによると、実際に2割以上の児童の就寝時刻が11時過ぎであり、5割の児童が平日に2時間以上インターネット環境下にいる。また、体育以外では体を動かしていないという児童も6割を超えている。学校生活の中でも外遊びの励行をしているが、何かと理由をつけて、室内で過ごす児童が多いのが現状であり、生活習慣の改善に踏み出せない児童が多い。本校では毎年、LINEでのトラブルが起きている。今年度も、軽率な判断からLINEトラブルが発生しているが、どこか他人事で、問題そのものに向き合っている児童は多くない。その背景も踏まえながら、自分事として捉え、改めて自分を見つめ直し、節度ある生活を心掛けようとする態度を養いたい。

## (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、「ルールを決めること」「機能に制限をかけること」についての対立する意見を取り上げた話である。4つの意見には、それぞれにメリットとデメリットが取り上げられている。その中で、本当に大切なのは、自分と向き合って、自ら節度を守ることであることを考えさせる。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合うことにする。

## ① 4つの意見を分類し、「ルールを決める」「機能に制限をかける」について考える。

ここでは、「ルールを決める」「機能に制限をかける」ことについて、賛成か反対か中立か、自分の立場を明確にし、その理由を考えさせる。節度を守ることの大切さは理解できるけれど、欲求に逆らえない自分の弱さから、できないことがあるということを多面的・多角的に考えさせる。

## ② 「あなた自身で、けいたい電話とのつきあい方を考えてみましょう。」について一人一人の納得解を考える。

ここでは、自ら節度ある生活を心がけることの大切さについて考えさせる。  
以上の理由から、本主題を設定した。

#### 4 学習指導課程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点☆評価の視点
導入 (5分)	気づく 1 生活習慣についてのアンケート結果について話し合う。 ・アンケート結果を見て、どのように思いましたか。	・寝る時間が遅い。 ・ゲームは楽しいからついやってしまう。 ・運動不足。	・素直に自由に話せる雰囲気づくりをする。 ・自分事として考えられるようにする。
展開 (20分)	とらえる 2 教材「けいたい電話とのつきあい方」を読み、話し合う。 (1) 「ルールを決める、機能を制限する」ことについて、話し合う。 ・「ルールを決める、機能を制限する」ことについて、あなたは賛成ですか。反対ですか。 ・それはなぜですか。  深める (2) 自分自身で考えることはなぜ大切なのかを話し合う。 ・本当に大切なことはどんなことでしょうか。 ※①ワークシート(個人) ②小集団の話合い ③全体の話合い	〈賛成〉 ・取り返しのつかない失敗をしてしまうかもしれないから。 ・自分では、なかなかやめられないから。 ・インターネットは危険が多いから。 ・つい夢中になって時間の管理ができないから。 〈反対〉 ・楽しくないから。 ・自由に使いたいから。 ・自分で考えて行動することも大切だから。 ・勝手に見られたら嫌だから。  ・制限があってもなくても、自分で考えて使うことが大切。 ・時間を自分で決めて使うこと。 ・人によって必要なことは違う。 ・楽しさだけにとらわれず、安全に目を向けて自分で判断することが大切。 ・結局、自分を止められるのは自分だけだから。	・インターネット上の危険についてしっかりとおさえる。 ・4つの意見についての分類を明確にして考えさせる。 ・中立の立場の児童には、両方の理由を考えさせる。 ・自由に使いたい気持ちやトラブルを避けたいという思いなど、できるだけ多く出させる。 ・自分とは違う立場の友達の思いをしっかりと聞き合えるように助言する。 ・途中で考えが変わっても良いことを伝える。  ・自分自身にとって、何が大切かについて考えさせる。  ☆節度を守ることの大切さや難しさについて、多面的・多角的に考えることができたか。

(15分)	見つめる	<p>3 自分自身を振り返って考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの生活の中で、自分で判断したり、考えたりを振り返ってみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームに夢中になって寝るのが遅くなったことがある。</li> <li>・宿題を後回しにしたら、終わらなくて先生に怒られた。</li> <li>・宿題を済ませてから、好きなことをしている。</li> <li>・時間の使い方を考えて生活できるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できたこともできなかったことも自分自身で選択し、行動した結果であることを考えさせる。</li> </ul> <p>☆自分の生活を見直し、節度ある生活を心がけることの大切さについて、自分との関わりで考えている。</p>
終末(5分)	あたためる	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		

5 他の教育活動との関連

- ・情報モラルを意識して、インターネットを活用することができるようにする。
- ・周りに流されるのではなく、自分で考え、自制することが意識できるようにする。
- ・普段の生活時間の使い方を振り返り、節度を守った生活が意識できるようにする。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・節度を守ることの大切さや難しさについて、多面的・多角的に考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分の生活を見直し、節度ある生活を心がけることの大切さについて、自分との関わりで考えている。

7 板書計画

## 大切なことは…?

**反対**

- ・楽しくないから。
- ・自由に使いたいから。
- ・自分で考えて行動することも大切だから。
- ・勝手に見られたら嫌だから。

けいたい電話とのつきあい方

インターネットの良いところ

- ・いつでも情報が手に入る。
- ・家にいても友達とやりとりができる。
- ・ゲームで協力できる。
- ・好きな動画が見られる。
- ・クイズ番組に参加ができる。

**ルールを決める  
機能を制限する**

**賛成**

- ・取り返しのつかない失敗をしてしまいかもしれないから。
- ・自分では、なかなかやめられないから。
- ・インターネットは危険が多いから。
- ・つい夢中になって時間の管理ができないから。